



令和3年2月藤沢市議会定例会 記者会見資料



令和3年度当初予算案の概要



郷土愛あふれる藤沢



～松風に人の和うるわし 湘南の元気都市～

◇予算編成の基本的な考え方

- 令和3年度は新たな執行体制のもと、「藤沢市行財政改革2024」に取り組み、効率的な事務執行を進めると共に、「藤沢市市政運営の総合指針2024」の初年度の年として重点事業に確実に取り組み、「郷土愛あふれる藤沢」の実現をめざします。
- 令和3年度当初予算案は、市税が約40億円の減収の見通しとなり、厳しい財政状況の中、過去最大となる52億円の財政調整基金を取り崩すなどの財源確保策を講じ、市民の皆様の安全安心な暮らしを守る予算編成を行いました。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止の取組、デジタル市役所・スマートシティの推進、子育て支援や児童・生徒の学びを育む教育環境の充実、都市の機能と活力の充実、東京2020大会を契機としたレガシーの創出等を着実に進めてまいります。

◇予算規模

(単位：千円)

	令和3年度	令和2年度	増減額	対前年度比
一般会計	156,268,000	148,056,000	8,212,000	105.5%
特別会計	121,513,992	120,508,611	1,005,381	100.8%
合計	277,781,992	268,564,611	9,217,381	103.4%

- 一般会計予算は、平成29年度予算を約35億円上回り、過去最大規模

◇予算の特徴

○新型コロナウイルス感染拡大防止の取組

～感染拡大を防止すると共に、生活支援や経済支援を実施する

受診相談センターや一般電話相談等の相談体制・PCR検査センター等の検査体制・医療提供体制の充実、生活困窮者への支援、地域経済への支援

※専決処分及び2月補正予算の対応

新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金（第5弾）に係るつなぎ資金の融資、新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施

○デジタル市役所・スマートシティの推進

～Society 5.0社会を見据え、先端技術を活用したまちづくりを進める

行政手続等オンライン化の推進、藤沢市LINE公式アカウントの充実、ICT活用による内部事務効率化、デジタル人材の育成、藤沢市ロボット未来社会推進プロジェクトの推進、大型商業施設内に藤沢市マイナンバーカード北部窓口を開設

○子育て支援の充実

～子どもたちの成長をサポートし、安心して生み育てられる環境をつくる

保育士人材確保(子育て支援員研修の実施・保育士就労奨励助成金等)、幼稚園人材確保(幼稚園教諭就労奨励助成金)、病児保育事業の実施、放課後児童クラブの整備、サマースクール事業の実施、産後ケア事業の実施、産婦健診の費用助成

○児童・生徒の学びを育む教育環境の充実

～全ての子どもたちが夢や希望を持って学べる場をつくる

I C T学習環境の充実(学校 I C T 支援員の増強等)、鶴南小学校における屋内運動場等の整備、コミュニティ・スクールの導入、特別支援学級の開級に向けた準備(大清水小)、学習支援事業所の開設(御所見地区)

○都市の機能と活力の充実

～社会資本を整備し、まちの元気を育む

辻堂市民センター・公民館の再整備、善行市民センター・公民館の再整備、藤沢駅の東西地下通路再整備、湘南台駅地下通路イベント広場の整備、環境事業センターの再整備、北部環境事業所新2号炉の整備、江の島サムエル・コッキング苑のリニューアル

○東京2020大会を契機としたレガシーの創出

～安全で安心な市民参加型大会の実現と大会を契機としたレガシーを未来につなぐ

東京2020大会に向けた気運醸成の取組、大会関連ボランティアに関する取組、スポーツ都市宣言記念事業の実施、八部公園テニスコートの改修



*この資料に関する問い合わせ先

藤沢市役所

財務部 財政課 齋藤 内線 2301

企画政策部 秘書課 戸塚 内線 2110

企画政策部 広報課 鳥原 内線 2120